

輸出事業計画

※申請者名：青森県輸出促進協議会、品目：乳製品、農産加工品、水産加工品、菓子、調味料等加工食品

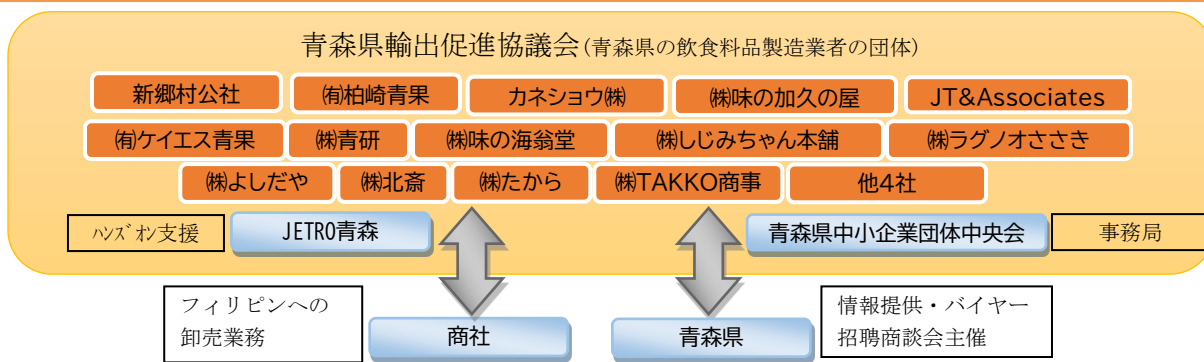
1. 輸出における現状と課題

- 【現状】
 青森県輸出促進協議会では、国内市場の縮小を背景に海外市場の開拓・拡大を目指し、平成24年度より米国の日系スーパー等で“青森フェア”を開催するなど、令和6年度の会員企業の輸出総額は約1.3億円。
 当初は米国市場を中心に展開していたが、近年はアジア市場への輸出も増加し、フィリピンでも新たな取引が始まった。この強化のためマニラBGCの小売店等との商談会を開催。これまで①甘いものを求めていること、②現地販売価格が日本国内の約3倍高額となるため「高くても良いもの」と納得できる商品づくり、③砂糖とアルコールの摂取から短命であるため、10年前に比べれば健康食品にもニーズはあること、④英語対応かつ美味しさや使い方が伝わる写真を用いたパッケージやPOPの必要性などの現地ニーズが得られている。
- 【課題】
 (生産)生産者人口の減少と高齢化、農水産資材も高騰しており原料価格が高騰。
 (加工)現地ニーズに対応した食味の調整や少量サイズ化が必要。
 (物流・商流)食味は現地ニーズに対応しているが、賞味期限の短い商品の冷凍による賞味期限長期化など物流の構築が必要。
 (販売)日本語パッケージのままであり、現地ニーズに対応したパッケージが必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 【取組内容】
 (生産)
 ・自社圃場の拡大、契約栽培生産者数の維持・増加を進めることにより原料仕入価格の安定化を図る。
 (加工)
 ・マーケティングを踏まえた食味や内容量の調整を行い、少量化に伴う資材切替のための設備投資を行う。
 (物流・商流)
 ・冷凍輸送での品質保持試験や現地着後の解凍販売のマニュアル化を行う。
 (販売)
 ・英語・タガログ語によるPOPの作成によるマーケティングと、これを踏まえた現地パッケージ作成を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状(令和6年度)	目標年(令和10年度)
輸出額(千円)	479	26,956
輸出先国	フィリピン	フィリピン